

<再評価>

事業名 (箇所名)	総合流域防災事業(立江川)	担当課 担当課長名	河川整備課 披田 毅	事業 主体	徳島県			
実施箇所	小松島市赤石町～立江町							
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業							
事業諸元	全体計画延長L=3,000m (築堤86,000m ³ 、掘削 100,900m ³ 、護岸 4,724m、水路440m、樋門樋管19基、道路橋6橋、鉄道橋1基等)							
事業期間	昭和63年度～令和15年度(西暦1988年度～2033年度)							
総事業費(億円)	60.0億円	残事業費(億円)	17.5億円					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 過去の浸水実績 ①被災頻度: S40,S43,S47,S50,S51,S54,H7,H10,H13,H15,H16,H25,H26 ②最大浸水戸数: 床上44戸、床下438戸(昭和40年台風23、24号) ③最大浸水面積: 410ha(昭和40年台風23、24号) ・近年でも浸水被害(H16、H25、H26)が頻発しており、特に平成16年台風23号では、甚大な浸水被害(床上浸水78戸、床下浸水162戸)が発生している。 ・現況河道断面の疎通能力は極めて小さく、上流域では過去から浸水被害が多発し、多数の家屋の浸水被害とともに県道等の主要道路が冠水・通行止めとなっている。 <達成すべき目標> ・河川整備計画目標規模(年超過確率1/30)の洪水を安全に流下させる。</p>							
	浸水軽減戸数: 240戸 浸水軽減面積: 112ha							
事業全体の投資 効率性	基準年度 B:総便益 (億円)	270.7	令和5年度 C:総費用(億円)	128.6	B/C 2.1	B-C 142.1	EIRR (%)	5.9
残事業の投資効 率性	B:総便益 (億円)	143.2	C:総費用(億円)	14.8	B/C 9.7			
感度分析	残事業(B/C)		全体事業(B/C)					
	残事業費(+10%~-10%)	8.8 ~ 10.7	2.1 ~ 2.1					
	残工期(+10%~-10%)	9.5 ~ 9.9	2.1 ~ 2.1					
	資産(+10%~-10%)	10.6 ~ 8.7	2.3 ~ 1.9					
事業の効果等	<p>・河川整備計画目標規模の洪水に対して、浸水家屋の250戸が解消され、氾濫面積約123haが軽減される。 ・また事業実施前には災害時要援護者が301人、最大孤立者数が289人、電力停止による影響人口が77人と想定されるが、事業実施によりこれらが解消される。 ・白鷺橋上流には、水位計が設置されており、水位の公表を行う事で、住民の水害リスクに関する意識の向上を図っている。</p>							
社会経済情勢等 の変化	<p>地域開発の状況: 流域内には小松島市の市街化区域があり、今後も開発が進むと予想される。 地域の協力体制: 上流行区について、今後も市と協力し、地元理解を求めていく。 地域の事業に対する社会的評価: 白鷺橋上流には、19番札所立江寺があり、県の観光名所となっていることから、地元からの浸水被害軽減に対する期待が高い</p>							
事業の進捗状況	・昭和63年度より事業に着手し、令和4年度末で進捗率は71%(事業費ベース)である。							
事業の進捗の見 込み	・白鷺橋の架替について、関係機関との調整を充分に行うことで、円滑な施工を行う。							
コスト縮減や代 替案立案等の可 可能性	各事業の設計段階では比較検討を行い、施工段階では掘削土等の有効活用をすることでコスト縮減を図る。							
対応方針 (案)	継続							
対応方針理由 (案)	近年でもH26台風12号11号による浸水被害被害を受けており、これからも河川改修を行い、被害軽減に努める必要がある。							
その他								